

(件 名)

第1回県政インターネットモニターアンケート調査 に係る集計結果について 食の安全性に関する意識調査

(しずおか食の安全推進委員会)

1 趣旨

牛海綿状脳症の発生や食肉等の偽装表示問題あるいは中国製ダイエット用健康食品による健康被害の発生等により、県民の食品の安全性に対する信頼は大きく揺らいでいます。

このため、県では、生産から流通・消費までの総合的な食品の安全確保体制の構築及び健康危機管理体制の強化を図るため、庁内関係部局(生活・文化部・環境森林部・健康福祉部・商工労働部・農業水産部・教育委員会)からなる「しずおか食の安全推進委員会」を設置し、一体的な行政を推進することとしました。

そこで、今回、県政インターネットモニターアンケートにより食の安全性に関する意識調査を実施し、上記委員会において策定する食の安全確保のための基本方針やアクションプランへ皆様の意見を反映させていくこととしております。

2 県政インターネットモニターアンケート調査

モニター数：498人 回答者数：452人 回答率：90.8%

3 アンケートの構成

今回のアンケートは全16問とし、各構成は以下のとおりとしました。

- (1) 食の安全性について(3問)
- (2) 食品を購入する際のポイントについて(4問)
- (3) 食品の安全対策について(5問)
- (4) 行政に何を求めているか(3問)
- (5) 自由記述欄(1問)

4 主な質問及び回答状況(抜粋)

問 食品の安全性について、不安を感じていますか。

回答 452人中443人(98.0%)が不安を感じていると回答されました。

問 あなたは食品の安全性について、次にあげる項目のうち、特に不安を感じるものはどれですか。この中から3つまで選んでください。

回答 食品中の農薬や抗生物質等の残留が最も多く、382人(84.5%)で、輸入食品の安全性が292人(64.6%)で次に多く、食品添加物の安全性が244人(53.9%)の順でした。

問 あなたは食品を購入する際に、食品の表示の中で、特に必要だと思う項目は何ですか。この中から3つまで選んでください。

回答 日付(消費期限、品質保持期限)と答えた方が407人(90.0%)で最も多く、次に、原材料(食品添加物・アレルギー物質・遺伝子組換え食品等の含有の有無)の365人(80.7%)の順でした。

問 食品の安全性を確保するために、県では特に何に力を入れていくべきだと思いますか。この中から3つまで選んでください。

回答 「食品の製造所や販売店への立入検査の強化」が328人(72.5%)、「食品の抜取検査(行政検査)の強化」が321人(71.0%)で、多くを占めました。

5 まとめ

今回のアンケートの集計結果により、大変多くの県民の皆さんが食品の安全性に対して不安に思うとともに、食品表示に対して不信感を抱いていることが明らかとなりました。

また、その不安を抱く原因となるものは、食品中の農薬や抗生物質等の残留、輸入食品や食品添加物の安全性であるとともに、食品の表示については、多くの県民の皆さんが日付と原材料表示の重要性を感じていることが分かりました。

さらに、行政に対しては、より一層の監視指導や抜取検査の強化による食の安全確保を望んでいることが分かりました。

今後は、これらの貴重な御意見を踏まえ、食の安全推進のための基本方針やアクションプランを策定していきたいと考えております。